

新嵐山スカイパークの今後について

1 令和5年度の運営（維持管理方法と所要経費）について

(1)新嵐山スカイパークの立入制限については、令和6年4月に第2回債権者集会が予定されていることとあわせて、施設周辺で除雪を行っていない場所が多く、落雪等の危険もあることから、令和5年度については制限の解除を行わない。

2 令和6年度の運営（維持管理方法と所要経費）について

(1)令和6年度に策定するランドデザインのための「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」について、令和6年2月15日(木)開催の経営戦略会議で「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(案)を決定

(2)議会及び町民の意見等をふまえ、令和6年3月に「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」を確定し、ランドデザイン策定に取り組む。(ランドデザイン策定に係る委託料については、令和6年度当初予算で提案予定)

(3)令和6年度については、令和5年度と同様に最低限の維持管理費用とともに、スキー場の再開に向けたリフトの点検や公園機能として一部開放に向けた草刈等の経費を当初予算で提案予定。(各種点検等の結果、修繕等の必要な経費が発生する場合は、補正予算等で対応する。)

なお、スキー場の再開については、運営手法(直営、委託等)を検討するとともに、リフトの点検等により再開が可能と判断されれば、再開に係る費用を補正予算等で対応する。

(4)公園機能としての一部開放については、令和6年5月以降を想定。

3 経営方針変更の手順とスケジュールについて

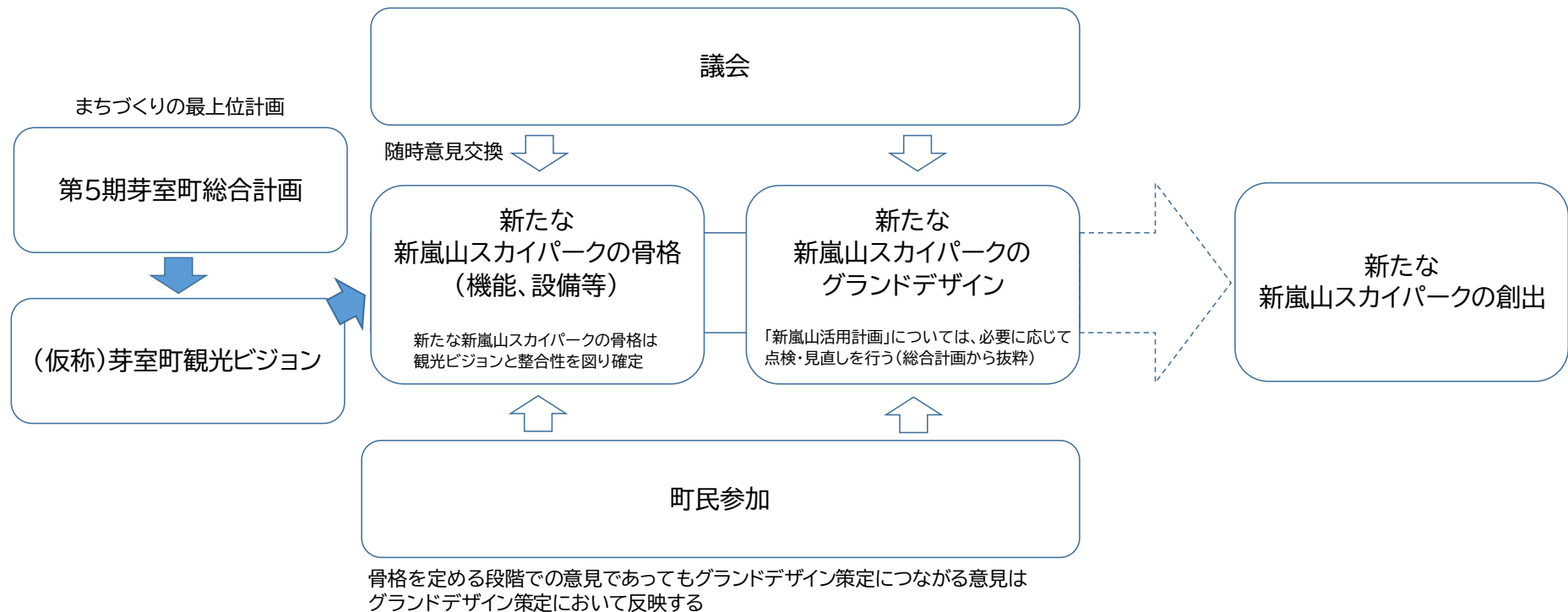
(1)新嵐山スカイパークの再生に向けたスケジュール(令和6年2月現在)

	項目	内容	令和5年度		令和6年度		令和7年度以降
			令和5年10月～令和6年1月	令和6年2～3月	4～9月	10～3月	
1	あり方の骨格 (機能・設備)	今後の新嵐山スカイパークで想定する機能や設備のこと (例: スキー場、キャンプ場、宿舎、レストラン)	・めむろ☆未来ミーティング(10月) ・アンケート(LINE)(11月) ・ワークショップ(12月) ・ホットボイス ・めむろ☆未来ミーティング(1月)	・あり方の骨格に係る説明会(3/2、3/4～6)			
2	グランドデザイン (全体的な構想)	基本理念、機能、規模、場所(配置)、工程		確定	契約 ～(進捗状況により)情報提供～意見聴取	策定	
3	基本構想・基本計画	機能性、周辺環境との連携、概算工事費、施設等の構造、レイアウト					策定
4	実施設計・工事施工 (工事を伴う場合)	工事施工に向けたデザイン、設計、工事費の詳細積算、工事着工					策定・工事施工
5	一部オープン	町民の皆さんからの要望の多い機能等は可能な限り早期再開			草刈委託(5月～)～一部公園機能開放(5月以降) リフト保守点検委託(5～8月頃)～必要に応じ修繕等 スキー場運営手法検討(直営or民間委託) ～必要経費補正予算提案～オープン(R6シーズン)		
6	グランドオープン	1～5の取組による新たな新嵐山スカイパークのオープン					グランドオープン

(2) グランドデザイン策定までの進め方

- ①令和6年3月上旬に新たな新嵐山スカイパークのあり方の骨格(機能、設備等)を確定させる。
- ②骨格となる機能や設備等をどのように整備するのか、どのように新たな新嵐山スカイパークに位置付けるのかをグランドデザインで決めていく。(令和6年度)
- ③新嵐山スカイパークのあり方の骨格やグランドデザインの検討など、各段階において様々な手法で町民参加を募る。
- ④新嵐山スカイパークのあり方の骨格に記載の機能や設備、サービスであっても、グランドデザインの策定を進める中で、事業規模や新嵐山スカイパークでの配置、事業費等により、実現が難しいものや当面取り組むことができないものも考えられる。

《イメージ》



(3)「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(案)
別紙資料2のとおり

(4)今後のスケジュール

令和6年3月2日(土)「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(案)に係る説明会 会場:めむろーど

令和6年3月4日(月)～6日(水)「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(案)に係る説明(随時) 会場:役場会議室

令和6年3月上旬「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」確定